

産業建設常任委員会

日 時 令和5年9月15日(金)午前10時から

場 所 全員協議会室

議 題

1 付託案件(1件)

- (1) 議案第48号 令和5年度射水市下水道事業会計補正予算(第1号)

2 報告事項(6件)

- (1) 射水市道の駅新湊等整備運営事業に係る事業者公募の実施について
(産業経済部 観光・定住課 資料1)
- (2) (仮称)移住・空き家トータルサポート業務の実施に向けたサウンディング型市場調査の実施について
(産業経済部 観光・定住課 資料2)
- (3) 射水市防犯灯LED化推進事業公募型プロポーザルの実施結果について
(都市整備部 用地課 資料1)
- (4) 令和4年度射水市水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料1)
- (5) 令和4年度射水市下水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料2)
- (6) 作道第1排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について
(上下水道部 下水道工務課 資料1)

3 その他

射水市道の駅新湊等整備運営事業に係る事業者公募の実施について

1 これまでの経過

令和3年10月	射水市道の駅周辺エリア基本構想を公表
令和4年 5月～	第1回サウンディング型市場調査を実施（14者が参加） 【方向性】 ・道の駅新湊等については、民間事業者が持つノウハウ等を最大限発揮できる事業スキームを決定するため、より詳細なサウンディング型市場調査を改めて実施する。 ・宿泊施設の公募を先行して実施する。
令和5年 3月～	宿泊施設の整備・運営事業者を公募 ・令和5年5月、優先交渉権者に合同会社ニューツーリズム・トリップベース3号を選定
令和5年 6月～	第2回サウンディング型市場調査を実施（5者が参加） ・事業スキーム（事業範囲、事業規模等）について意見交換 ・全ての参加事業者から、駐車場の増設を要望する意見が出された。

2 今後の方針

2回にわたるサウンディング型市場調査を通じ、新築ではなく大規模改修が適当であること、新湊農村環境改善センターを道の駅新湊の別館として一体的に整備・運用することが望ましいなど、事業スキームの整理ができたことに加え、複数の民間事業者から公募への参加意向が示されたことから、本事業について最も優れた提案を行った者を優先交渉権者として選定するための公募型プロポーザルを以下のとおり実施する。併せて、駐車場の増設について検討を行う。

3 公募型プロポーザルの概要（案）

(1) 改修対象施設

- ア 道の駅新湊（所在地：射水市鏡宮296番地）
- イ 新湊農村環境改善センター（所在地：射水市鏡宮301番地）

(2) 事業コンセプト

- ア 道の駅周辺エリアの魅力を高め、滞在時間の拡大と更なる賑わいの創出を図る。
- イ 射水ブランド推進の場として、地域経済の波及効果を高める。
- ウ 射水市観光の玄関口として、周辺観光地への誘導を図る。

(3) 事業手法

上記コンセプトの実現に向け、実際に運営を担う民間事業者のアイデアとノウ

ハウが設計に最大限反映され、より使いやすく経営的視点に立った施設整備を実現するため、運営事業者と設計、施工事業者を一つのチームとして一体的に選定する手法（DBO方式）を採用する。

※ DBO方式…Design（設計）・Build（施工）・Operate（運営）を一括して発注する手法。従来の手法（設計、施工、運営事業者を順次選定）と比べ、運営者の意向や経営ノウハウを反映した設計が可能になるほか、工期短縮や事業費縮減に繋がる可能性がある。

(4) 公募条件

ア 管理運営期間（指定管理期間）

15年間

イ 対象施設の改修に係る設計、施工及び工事監理等に関する費用

上限額：700,000千円（消費税等含む）

ウ 指定管理料

改修後の施設の管理運営に要する費用は運営事業者の負担とし、市からの指定管理料の支払いは行わない。

エ 本市への納付金

毎年度の売上の一定割合を、本市に納付することとする。

(5) 優先交渉権者の選定方法

外部有識者及び市職員で構成する事業者選定委員会を設置し、事業費や提供サービス、空間デザインを含む提案内容を総合的に審査の上、最も優れた提案を行った事業者（グループ）を、優先交渉権者として選定する。

(6) スケジュール（案）

令和5年10月	事業者公募要項の公表
令和6年 1月	書類審査及びプレゼンテーション審査
3月	3月定例会 ・優先交渉権者選定の報告 ・設計及び改修工事に係る予算議決
4月	基本・実施設計業務委託契約締結
11月	改修工事請負仮契約締結
12月	12月定例会 改修工事請負契約の議決
令和7年 9月	9月定例会 指定管理者指定の議決
令和7年度中	リニューアルオープン

※ スケジュールは現時点での予定であり、今後変更となる可能性がある。

(仮称) 移住・空き家トータルサポート業務の実施に向けたサウンディング型市場調査の実施について

1 業務実施の趣旨

近年、移住希望者への情報発信、空き家の紹介や仕事に関する相談、移住後の定着支援など、移住・空き家に関するサービスをワンストップで提供する窓口を、民間事業者に委託して開設する自治体が増えている。

本市においても、こうした窓口の開設を含む(仮称)移住・空き家トータルサポート業務を実施し、移住希望者等の利便性を向上させ、移住・空き家利活用のより一層の促進につなげる。

2 想定する対象業務

- ・ 土日祝日、夜間も含めたサポート業務の実施
- ・ 移住希望者への情報発信
- ・ 空き家等情報バンクの充実、Webサイトの構築・運営
- ・ 不動産事業者等と連携した空き家の紹介や仕事に関する相談
- ・ 市内の案内（アテンドや移住体験ツアーの開催など）
- ・ 移住後の定着支援（悩み相談、移住者交流会の開催など）

3 サウンディング型市場調査の実施目的

今後実施を予定している事業者公募に向け、以下の項目について対話を行い、民間事業者が参入できる公募条件を整理する。

- ・ 上記業務の実施の可否（業務範囲の確定）
- ・ 上記業務以外に実施可能な独自提案
- ・ 人員配置や業務の実施場所、概算事業費 等

4 今後のスケジュール（案）

令和5年 9月下旬	サウンディング型市場調査実施要領の公表
11月～12月	参加事業者との対話の実施
令和6年 3月	3月議会でサウンディング型市場調査の結果及び公募の概要等について説明
4月以降	公募開始（令和6年度内の業務開始を目指す。）

※ スケジュールは現時点での予定であり、今後変更となる可能性がある。

射水市防犯灯LED化推進事業公募型プロポーザルの実施結果について

市が管理する防犯灯について、脱炭素社会の実現に向けた取組と消費電力の低減による行政コストの軽減を一層進めるため、防犯灯LED化整備の提案を公募した。

1 事業概要

(1) 契約方式

リース方式（10年間）

(2) 対象物件

防犯灯LED照明灯具・配線・取付け金具等関連機器

(3) 実施場所及び数量

市内全域700基

（LED化率 現行 約90% 約96%）

2 公募参加事業者数

2事業者

3 優先交渉権者の選定

射水市防犯灯LED化推進事業公募型プロポーザル審査委員会を設置し、参加事業者の企画提案を総合的に審査の上、優先交渉権者を選定した。

(1) 優先交渉権者 北国総合リース株式会社

(2) 得点 422点 / 500点満点（100点×5名）

4 審査委員会の講評

北国総合リース株式会社の提案は、市内における施工実績が豊富な複数の市内施工業者と連携した内容となっており、市内経済への波及効果における評価が高く、円滑な事業遂行が見込まれる。また、事業見積額においても優位性があったことから優先交渉権者として選定した。

5 今後のスケジュール（予定）

令和5年 9月上旬 事業着手

令和5年12月下旬 防犯灯LED化工事完了

令和6年 1月から リース開始（10年間）

令和4年度射水市水道事業の決算見込みについて

1 概況

水道事業では、将来へ持続可能な事業運営を確立するため、水道事業ビジョンに掲げた『未来へつなぐ安全安心の水道』の実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでいます。

近年の水需要の減少を踏まえ、富山県企業局と協議を継続してきた受水料金の改定を実現し、今年度から受水費を抑制したことが減収増益の主な要因となりました。また、大規模な地震が発生した場合においても、生活に必要な水を確保するため、主要配水池である烏越調整場低区調整池の耐震補強を完了し、水道管路では老朽管の更新を積極的に推進し、水道施設強じん化の取り組みを推進しました。

2 業務量

項目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
給水人口	90,370 人	90,737 人	367 人
給水栓数	36,239 栓	36,121 栓	118 栓
配水量	10,512,731 m ³	10,584,037 m ³	71,306 m ³
有収水量	9,877,605 m ³	10,000,685 m ³	123,080 m ³
有収率	94.0 %	94.5 %	0.5 ポイント
1日最大配水量	43,074 m ³ (1月27日)	35,868 m ³ (1月9日)	7,206 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
水道事業収益	2,002,701	2,015,535	12,834	水道事業費用	1,691,175	1,756,398	65,223
営業収益	1,858,657	1,871,011	12,354	営業費用	1,584,455	1,640,488	56,033
営業外収益	142,651	139,850	2,801	営業外費用	106,720	115,910	9,190
特別利益	1,393	4,674	3,281	特別損失	0	0	0

当年度純利益311,526千円（対前年度比較52,389千円の増）

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
資産	21,425,335	20,935,954	489,381	負債	9,378,692	9,200,837	177,855
固定資産	19,621,578	19,327,404	294,174	固定負債	7,613,673	7,594,216	19,457
流動資産	1,803,757	1,608,550	195,207	流動負債	864,713	792,289	72,424
				繰延収益	900,306	814,332	85,974
				資本金	11,191,947	10,919,947	272,000
				剰余金	854,696	815,170	39,526
				資本剰余金	0	0	0
				利益剰余金	854,696	815,170	39,526
資産合計	21,425,335	20,935,954	489,381	負債・資本合計	21,425,335	20,935,954	489,381

(3) 剰余金処分（案）

令和4年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金595,696,678円のうち284,000,000円を資本金に組み入れるとともに、311,000,000円を減債積立金に積み立て、残金696,678円を繰り越すものとする。（繰越利益剰余金）

4 資金不足比率

%

令和4年度射水市下水道事業の決算見込みについて

1 概況

下水道事業では、下水道事業ビジョンに掲げる「未来に続く確かな水環境の創造」に基づき、効率的な維持管理や効果的な建設改良を進めることで、次代に引き継ぐ健全な経営環境の実現に向けて取り組んでいます。

令和4年度においては、身近な生活インフラである下水道施設を恒久的に運営するため、老朽管渠の改築やポンプ施設の更新を行うとともに、近年の局地的な豪雨による浸水被害に対して、市民の安全・安心を確保するため、片口第1排水区、枇杷首排水区及び作道排水区などの雨水対策事業に積極的に取り組みました。

2 業務量

項目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
水洗化人口	86,027 人	86,267 人	240 人
接続件数	34,090 世帯	33,613 世帯	477 世帯
処理水量	11,577,171 m ³	11,683,070 m ³	105,899 m ³
有収水量	8,472,625 m ³	8,546,155 m ³	73,530 m ³
有収率	73.2 %	73.1 %	0.1 ポイント
1日最大処理水量	55,737 m ³ (8月21日)	71,908 m ³ (8月13日)	16,171 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
下水道事業収益	3,959,855	3,973,546	13,691	下水道事業費用	3,517,508	3,576,112	58,604
営業収益	1,807,707	1,740,738	66,969	営業費用	3,134,002	3,135,660	1,658
営業外収益	2,116,097	2,179,607	63,510	営業外費用	383,506	432,755	49,249
特別利益	36,051	53,201	17,150	特別損失	0	7,697	7,697

当年度純利益442,347千円(対前年度比較44,913千円の増)

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	科目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
資産	59,461,577	60,904,914	1,443,337	負債	45,832,551	48,083,972	2,251,421
固定資産	58,293,457	59,739,087	1,445,630	固定負債	20,217,515	21,957,971	1,740,456
流動資産	1,168,120	1,165,827	2,293	流動負債	2,533,089	2,506,962	26,127
				繰延収益	23,081,947	23,619,039	537,092
				資本金	12,234,445	11,442,448	791,997
				剰余金	1,394,581	1,378,494	16,087
				資本剰余金	209,139	209,058	81
				利益剰余金	1,185,442	1,169,436	16,006
資産合計	59,461,577	60,904,914	1,443,337	負債・資本合計	59,461,577	60,904,914	1,443,337

(3) 剰余金処分(案)

令和4年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金948,412,844円のうち505,629,881円を資本金に組み入れるとともに、442,000,000円を減債積立金に積み立て、残金782,963円を繰り越すものとする。

(繰越利益剰余金)

4 資金不足比率 - %

作道第1排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について

1 事業目的

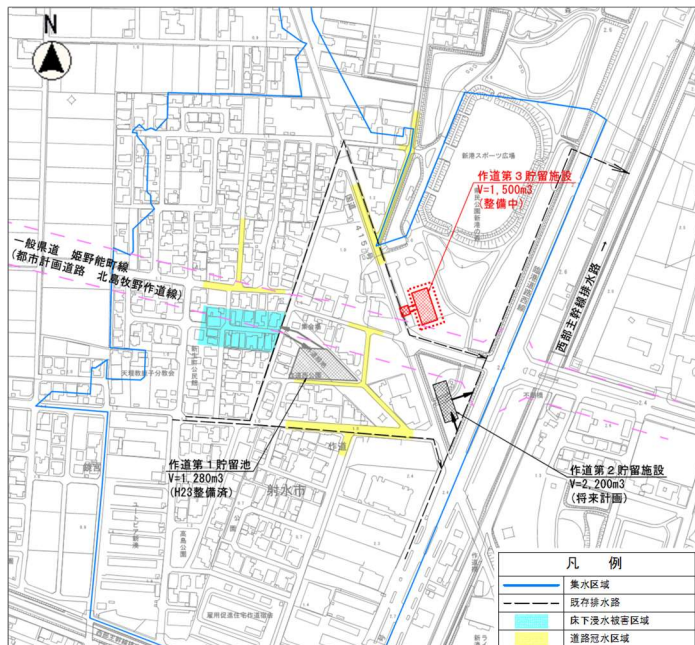
作道第1排水区(作道(新生町)地区)は、大雨により低地部において床下浸水や道路冠水の浸水被害がたびたび発生している。このことから、当地区の雨水対策として、既設排水路の水位を低下させるため、雨水を一時的に貯留する雨水調整池を3か所整備する計画である。このうち、第1貯留池については平成23年に整備が完了しており、今回は2施設目となる第3調整池(地下式)を県民公園「新港の森」駐車場敷地内に整備し、浸水被害の軽減を図るものである。

2 工事請負契約の内訳

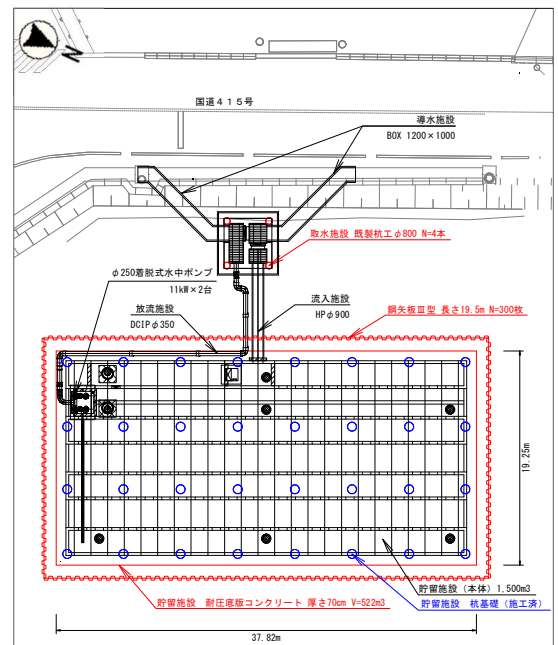
工事名 : 公共下水道(雨水)作道第1排水区雨水調整池整備(その2)工事

契約金額	工事受注者	工期	主な工事内容
212,300,000円 (うち消費税等 19,300,000円)	竹沢建設・四方組公 共下水道(雨水)作道 第1排水区雨水調整 池整備(その2)工事 共同企業体	令和5年 8月28日 ～ 令和6年 3月22日	本体作業土工 N=1式 鋼矢板 N=300枚 耐圧底板コンクリート打設 A=728m ² 取水施設既製杭工φ800 N=4本

3 位置図



4 計画平面図



5 計画断面図

